

# 校長室だより

八代市立龍峯小学校  
校長 村嶋 博史



学校教育目標 「**学びを生かす子供**」

～自信と誇りをもった「きらりと輝く龍峯っ子」の育成～

R2,8,3

NO, 1 5

## 連携が子供の可能性を引き出す

先日行いました授業参観及び学級懇談会には、ご多用の中、多数おいでいただきまして、誠にありがとうございました。授業中のお子様の良さの発見はありましたでしょうか。また、担任との学級経営方針や子供たちの普段の様子等に係る情報の共有はできましたでしょうか。

学級懇談会の前に校内放送でもお話しさせていただきましたが、本校では、学校教育目標「**学びを生かす子供**」の具現化に向け、少人数指導の良さを生かし、一人一人の子供としっかりと向き合い、「認め・褒め・励まし・伸ばす」教育を基本とし、「インパクトのある指導」や「継続性のある指導」、「子供たち自身が価値を見出し行動するような指導」などをとおして、一人一人の個性の伸長、確かな学力や豊かな心の育成、健康の増進などに努めています。

その効果を高めるためには、ご家庭と学校との信頼関係と情報の共有が不可欠です。良いことも悪いことも情報交換できることが一番だと思います。「不審」とか「不満」とかになる前に、「疑問は必ずお問い合わせください。担任もしくは教頭、校長にお問い合わせください。誠意を持ってお応えします。また、いじめや体罰についても、少しでも気になることもご遠慮なくお尋ねください。いじめや体罰は、命に関わりますし、不登校となっても教育を受ける権利を奪うという、あってはならないものです。加害者のことを考えましても、いじめや体罰は根絶しなくてはなりません」

そういう信頼関係と情報の共有がなされた上で、ご家庭では「先生の言われることを聞きなさい。」とおっしゃっていただきたいと思います。

学校では「お家の方のおっしゃることを聞きなさい。」と指導します。教育の出発点でもあるご家庭で、お子様の将来を見据えたしつけを愛情をもって行っていただきたいと思います。

教育は、学ぶ者の意欲と教える側の熱意、そして、ご家庭の協力が一体となった時、最大の効果を発揮します。今後ともご家庭と学校との「**共育**」により、お子様の可能性を最大限に引き出したいと思っています。

## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクレベル引き上げ

熊本県は、直近1週間（7月21日から7月27日）で、クラスターを含む10名以上の新規感染者が確認されたことを踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、7月27日からのリスクレベルを「**リスク3 警戒**」に引き上げ、その対策として、「不要不急の県外への外出を自粛すること」「特に、『3つの密』のある場及び感染が流行している地域への移動は極力自粛すること」「外出する場合は、マスク着用や手洗い等の感染防止対策を徹底すること」を県民に求めました。このことは、7月31日(金)に安心・安全メールにて、保護者の皆様に、お子様をはじめご家族全員の感染予防対策の徹底を呼びかけさせていただいたところです。今後とも対策の徹底をよろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症に伴う偏見や差別（特に、憶測や噂話等のSNSへの投稿）の防止の徹底もお願いします。子供たちには、偏見や差別を絶対に見せたくも聞かせたくありません。我々大人が、偏見や差別に敏感に気付き、絶対にしない、させない、許さないことが大切だと思います。もし、お子様の話の中で気になる言葉が発せられたら、機を逃さず「もし、自分がそう言われたらどういう気持ちになるか考えてごらん」（相手の立場に立って物事を考える子供づくり）とお話してください。

※今後、ご家族の中でPCR検査を受ける方がいた場合は、速やかに学校にご連絡ください。